

山手小学校区「スクールガード通信」

スクールガード山手小学校区

年々山手小学校の児童数は増加し、現在 1,246 人（8月26日現在）で、県下2番目のマンモス校になりました。いまだコロナは収束せず、諸行事（音楽会、修学旅行など）については、児童の安全をいかに確保して実施していくか、学校運営協議会（コミュニティカール）の中でも協議しながら、進めております。今回は、コロナ禍での教育および通学時の安全について関係者に語っていただきました。

コロナ禍による「新しい生活様式」が実行されて3年近くが経とうとしています。ウィズコロナの時代、自分たちの健康を守りながら、如何に以前のような生活を取り戻せるのか社会全体で模索中です。この夏の猛暑の中でも、熱中症に配慮しながらマスクの着用をお願いしてきました。

感染拡大収束が見通せない中、学校現場でも基本的な感染対策を徹底しながら教育活動を続けています。今後も子どもたちが安全に学校生活を送ることができるようにお力添えをお願いいたします。



長田教頭

日ごろ感じているのですが、見守り活動は小学生のいる方が対象で、中学校に進むと見守り活動も卒業と

思っている方（保護者含む）がいるように思います。そこで、6月に開催された“まちづくり安全研修会”に参加して、参考になった講演の一こまを紹介します。

【小/中学校連携した子ども110番活動】

中学校が主体（事務局）となっている“こども110番”の協力世帯に、子どもたちが「小学校だより」を持って行ってあげる。

そうすれば、協力者と子どもたちと顔見知りになり、いざと言う時、駆け込みやすくなり看板表示だけの協力でなく、実のある活動に発展するとともに、小学校と中学校との連携強化にもつながるのではないのでしょうか。



金内

スクールガードが足りないということで4月からお手伝いしています。

毎日、元気に挨拶をして学校に通っている姿を見ていると、こちらも元気になります。

時々、泣いている子、元気がない子を見掛けると心配になっちゃいますが・・・

ミニストップ前の交差点に立っていると車や自転車の交通量が多く

“危ない！”と思う事が多々あります。事故に遭遇したこともあります。

山手校区は交通量が多い道狭い道など子供達には危険な通学路が多いと感じています。



山手幼稚園 PTA 門司

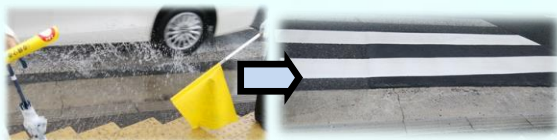
スクールガードと言うと、横断歩道に安全旗を持って立って子どもたちを安全に渡らせるのが目的と思われがちですが、もちろんそれは重要ですが、他にもできる事はあります。

色んな見守りがありますので、事例を紹介します。

事例を参考に、地域、子どもの見守りにご協力をお願いします。

2022

7/5 道路に凹みができ、雨の日車が通る時、水しぶきがかかる。
→市に連絡し保守してもらった。



5/19 登校時、児童と自転車の接触事故に遭遇
→児童を保健室へおくって行った。

5/18,19 通学中（下校）に体調不良を訴える子どもの対応
→学校（先生）に連絡

5/下 茜川にフェンスのない所があり市に設置依頼（設置済）。



2021.3 自転車出勤途中の男性が腹痛を起こしたので救急車を呼んで対応

2021.5 茜川沿のフェンス固定のボルトが抜けて用水路に落ちる危険がありと市に報告（保守済）

2020.2 登校時、徘徊しているお婆さんを近隣の人と協力して保護し、警察に連絡して解決

ふれあい

2022/7/11

大きくさやの膨らんだ枝豆を嬉しそうに、持ち帰る子どもたちに会って、授業などについてお話をしました。3年生の総合という授業で育てたと、教えてくれました。

このような小さなふれあい（会話）から信頼が芽生え、いつの間にか、「〇〇さん最近見ないけどどうしたの？」などと逆に子どもたちから心配して、見守れているように感じる時があります。



小さなポット苗がこんなに立派に育ちました。

裏面へ

《教育委員会からのお知らせ》



「スクールガードあかし」研修会を開催しました

7月7日(木)明石市民会館中ホールにて「スクールガードあかし」研修会を開催しました。明石警察署交通第一課の矢内秀宣氏による講演では、「交通事故情勢について」と題して、最近の交通事故の傾向や交通誘導する際に注意することなど、子どもやスクールガードが交通事故にあわないように映像を交えてわかりやすく説明していただきました。

スクールガード・リーダーによる講話では、活動にあたっての留意事項や不審者への対応についてアドバイスがありました。100名のスクールガードの方々にご参加いただき、充実した研修会となりました。



明石警察署による講演



スクールガード・リーダーによる講話

～スクールガード研修会から～

横断歩道での注意事項



- ・車が完全に停止するのを確認後、子どもたちを横断させましょう。
- ・信号が変わる間際は横断させずに、子どもたちを待たせましょう。
- ・通過する車には背を向けず、自分自身の安全を確保しましょう。
- ・子どもたちを急がせない。急がすような状況であれば待たせましょう。

～参加者の声（事前アンケートより）～

スクールガードとして「これはやってよかった!」と思うこと

- ・最後の登校班と一緒に学校まで行き、他の地域のスクールガードと情報交換をしている。
- ・主たるメンバーが、週に1、2回程度できる範囲で当地区の各スクールガードのところに巡回し、激励している。スクールガード各人も、モチベーションが上がり、有意義なことだと思う。
- ・「止まる・見る・待つ」を努めて啓発している。信号のない三差路で見守りをし、子どもには、車が横断歩道を通過完了するまで待たせている。待たせるときには子どもたちの顔を見ながら、その理由を説明している。
- ・子どもたちの登下校時に通学路上のゴミ拾いをしていると、それを見た子どもたちも「道にゴミを捨てない」という美化意識が芽生えた。
- ・子どもたちの挨拶がなくても、毎日こちらから声かけしていたら、挨拶が返ってくるようになり嬉しかった。
- ・明るく元気に挨拶、声かけ。また、子どもに時間を聞かれることがあるので、腕時計をいつもしている。
- ・登校時にウォーキングや犬の散歩をされている方にお話し、スクールガード活動に加入していただいた。
- ・通学路の安全対策（グリーン舗装等）について、市に要望を出し、危険箇所を早期に解消することができた。
- ・2年生の校外学習（まちたんけん）に同行し、見守りと説明などの補助をした。
- ・防犯笛を携帯し、見守り活動をしている。
- ・校区独自に安全通信を発行し、スクールガード活動の様子や通学路の危険箇所等を学校関係者やPTA、地域の方と情報共有している。



地域で守る子どもの安全

スクールガード 大募集

子どもの見守りボランティアに力を貸してください

子どもの安全のために、できる時に、できる事を、できる所で始めてみませんか？

スクールガードの登録についてはお近くの小学校、または教育企画室 青少年教育担当までお問い合わせください。

～教育委員会事務局教育企画室 青少年教育担当～ ☎078-918-5057



おれんじキャップを着用した人がたくさんいることが、不審者への大きな抑止力になります。今後とも子どもの見守り活動にご協力くださいますようお願いいたします。

各校区のスクールガードでは、新しい仲間を募っています。活動に関心をお持ちいただいた方は、お住まいの地域の小学校または青少年教育担当まで、気軽にご相談ください。

明石市教育委員会事務局 教育企画室 青少年教育担当

☎078-918-5057

